



消費者フォーラム in 千葉 「未来につなごう、思いやりの社会！」 — 私たち消費者ができること —

千葉市文化センター アートホール平成30年5月29日（火） 12時30分～



消費者月間の5月、消費者フォーラム in 千葉が開催されました。

消費者行政充実ネットちばでは、パネル展示「安全・安心な生活のために」と題して、リコールキャンペーンで評価を受けたPSアワードの表彰や、市町村消費者行政活性化シンポジウムなどの様子を展示しました。

2015年、国連「持続可能な開発サミット」で採択されたSDGs（17個の持続可能な開発目標）に関する実行委員会の展示もありました。

参加団体の展示



開会前、休憩時間に、大勢の参加者がパネル展示に足を止めていました。

主催者挨拶



千葉県環境生活部生活安全・有害鳥獣担当部長 石渡敏温 氏
消費者フォーラム in 千葉 実行委員長 丹羽 典明 氏

石渡部長とフォーラム実行委員長の丹羽氏の開催挨拶で消費者フォーラムが始まりました。

県の消費者行政について



千葉県環境生活部くらし安全推進課 消費者安全推進室長 斎藤孝治 氏

斎藤室長より消費生活相談の現状と最近の事例、消費者教育の推進、消費者団体との連携について、ご自身に来た、架空請求メールに慌ててしまったお話などユーモアを交えて千葉県の消費者行政の状況についてお話を頂きました。

基調講演 広げよう！消費者活動！～誰もが安心して暮らせる社会づくりを私たちの手で！～

阿南 久 氏



元消費者庁長官 阿南氏により、現在代表理事をされている消費者市民社会をつくる会（ASCON）の活動の紹介、消費者白書、千葉県の消費者相談の状況などから、消費者力の不足、情報不足が問題で伝えあい、学びあい、助けあう地域づくり＝消費者市民社会づくりの必要性を訴えられました。

消費者庁設立の理念に立ち返り、消費者の権利、事業者の責務、消費者・消費者団体の役割、持続可能な開発目標と消費者の5つの責任、私たち消費者が参加し手をつなぎ、学び伝えあうことの重要性をお話頂きました。最後は、消費者庁長官時代に推進された「子供を事故から守る」プロジェクトのテーマソング「おしえてね アブナイカモ」をダンス付きで歌われ、会場の拍手喝采で講演は終わりました。



ACTION! SDGs プロジェクト～木更津市消費生活センターの取り組み～



木更津市消費生活センターの消費生活相談員の橋口京子さんが、センター、庁内、そして市民を巻き込んで、消費生活センター発、SDGs 実現プロジェクトに取り組んでいる木更津市の活動を報告されました。

橋口さんは第33回 2017年 ACAP（公益社団法人消費者関連専門家会議）消費者問題に関する「わたしの提言」に「消費生活センター発 ACTION! SDGs プロジェクト～消費生活相談現場からの提言～」という論文で応募し、内閣府特命担当大臣賞（最優秀賞）を受賞されています。

団体活動報告



千葉県消費者団体連絡協議会「食品ロスを減らそう」

和田会長が、アンケート調査の結果、食べられる食品がいかに多く廃棄されているか。3010運動（＜乾杯後30分間＞は席を立たずに料理を楽しみましょう、＜お開き10分前＞になったら、自分の席に戻って、再度料理を楽しみましょう）を呼びかけました。

消費者関連研究会ーいちほら（生涯現役劇団ーぴっころ）



「オレオレ詐欺」と「還付金詐欺」を題材に、被害防止の啓発劇が披露されました。さすが、生涯現役劇団、切れの良い動きと、真に迫った演技に、会場は笑いに包まれながらも被害を防ごうと気持ちを一つにしました。最後に「電話de詐欺」の被害状況と、防止に向けた呼びかけに警察官の方がお話をくださいました。劇団手作りの銀行大道具を前にされると説得力倍増でした。

